

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年2月22日 (2018.2.22)

【公開番号】特開2016-150950(P2016-150950A)

【公開日】平成28年8月22日 (2016.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-050

【出願番号】特願2015-27403(P2015-27403)

【国際特許分類】

C 0 8 B 11/04 (2006.01)

C 0 8 G 59/04 (2006.01)

C 0 7 D 233/58 (2006.01)

C 0 7 F 9/40 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 B 11/04

C 0 8 G 59/04

C 0 7 D 233/58

C 0 7 F 9/40

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月4日 (2018.1.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

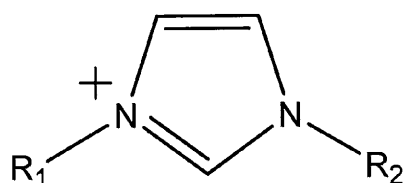
化学式 1 で示されるイミダゾリウム系カチオン及び $(\text{CH}_3\text{O})(\text{R}^3)\text{PO}_2^-$ (R^3 は、水素原子、メチル基又はメトキシ基を示す) から構成される第一のイオン液体と、

化学式 2 で示される第二のイオン液体との混合イオン液体であって、

前記混合イオン液体における前記第二のイオン液体の割合が、モル比で 0.5% 以上 10% 以下の範囲であり、

セルロースに対する溶解性及び酸触媒機能を有する、セルロースのエポキシ化処理用混合イオン液体。

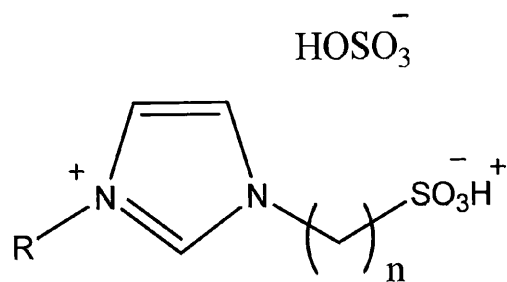
【化 3】



化学式 1

(化学式 1 中、 R^1 及び R^2 は、互いに同一である又は異なる炭素数 1 ~ 4 の直鎖又は分岐アルキル基を示す)

【化 4】



化学式 2

(化学式 2 中、Rは、炭素数 1 ～ 4 の直鎖又は分岐アルキル基を示し、
 n は、 1 ～ 6 の整数であり、
 スルホン酸基を有する鎖中には、エチレンオキサイド単位が含まれてもよく、カチオンと
 アニオンの比は必ずしも当量ではない)